

横浜市立大学 アドミッションポリシー

1 学部・学科構成

- 国際総合科学部 国際総合科学科
- 医学部 医学科
看護学科

2 歴史と特色

横浜市立大学は、1882（明治 15）年に創設された横浜商法学校、1874（明治 7 年）に開院した十全病院、および 1898（明治 31）年に創設された横浜市立十全看護婦養成所をその原点としています。外国と対等に貿易を行うための商業教育、また横浜の医療の発展につくす万人のための医療の実施がこれらの設立の目的でした。こうした流れを発展させる形で、1949（昭和 24）年に新制大学として横浜市立大学商学部が、3 年後の 1952（昭和 27）年には医学部が発足しました。どちらも「人の役に立つ人となれ」という精神が根底にあります。また商学と医学という 2 つの領域をつないでより総合的な大学となるよう、特に国際港都横浜の文化的発展を担う国際的な青年を育成するため、同じ 1952 年に文理学部が設置されました。以来、1995（平成 7）年の文理学部改組による国際文化学部と理学部の開設、および大学院の設置・拡充を経てなお、「国際港都横浜市における学術の中心として研究教育ならびに能力に富む人材の育成に努め、世界の平和と人類の福祉に貢献し、市民生活ならびに文化の向上に寄与する」という建学の精神を継承し、発信型の国際的人材を横浜から世界に送り出しています。

社会が経済や科学技術と密接に関連しながら地球規模で足早に変化する中で、2005（平成 17）年の公立大学独立行政法人化を機に 3 学部（商学部・国際文化学部・理学部）を国際総合科学部に統合し、柔軟なカリキュラム編成を導入しました。同時に医学部では看護短期大学部を 4 年制とし、医学科と看護学科の 2 学科体制としました。これにより世界有数の沿岸大都市（Coastal Mega-City）横浜市が有する大学として、世界を見据えて活躍する国際感覚豊かな若者を育成する目標にむけて、大学をあげてリベラルアーツ教育（実践的な教養教育）の拡充、国際化推進、先端的科学研究の遂行に努めています。

3 本大学の使命と 3 つの理念

横浜市立大学は、学生一人ひとりの個性を尊重し、幅広い教養と磨かれた専門性が具わるよう、きめ細やかで実践的な教育を推進します。そして国際都市・横浜にふさわしい国際性と自由で柔軟な考えをもち、社会の発展や人類の文化向上および福祉に貢献しようという高い志をもつ人間を育成すると共に、学術の中心として世界に通用する大学となります。

- 1 学習成果を最大限に引き出し、自ら課題を見つけ探求する姿勢と様々な問題を解決する能力が備わった人間の育成に努めます
- 2 学生のキャリア形成に主眼を置いた様々な支援プログラムを提供し、国際社会で通用する人間の育成に努めます
- 3 横浜市が有する意義ある大学として、人材育成、産学連携、市民医療など地域への貢献を推し進めます

4 学部の教育目標

実践的な共通教養教育

変革の時代に求められる積極的な姿勢と課題を解決する力を備えた人間を育成するために、自ら問題を発見し、取り組むことができるよう「問題提起科目」「技法の習得科目」「専門との連携科目」からなる実践的な共通教養教育を全学的に行います。英語を中心とした語学力と文章表現・発表能力の開発を重視し、国際的な場で活躍できる基礎を築きます。

国際総合科学部

国際的視野を有し 21 世紀をきり拓く人間を育てるため、国際基準を満たす教育を行います。課題発見から解決まで一貫して取り組むことができるよう、論理的な思考力、表現力、発信力を育成します。専門教養教育は 3 つの学系（各 2 コース）と 1 つの融合領域（1 コース）からなる 7 つのコースに分かれて行います。基礎と専門が車の両輪となるよう、共通教養と専門教養との単位の均衡を図っています。

国際教養学系〔人間科学コース／国際文化創造コース〕においては人間と人間関係に対する洞察力を備え、自文化・異文化に精通し、多彩な情報発信能力を備えて国際交流や社会に貢献できる人材の育成を目指します。

理学系〔基盤科学コース／環境生命コース〕においては自然科学の発想や知識、技術を身につけ物質科学、生命科学、地球環境問題、新エネルギー開発、食糧増産などの専門分野で活躍できる人材の育成を目指します。

経営科学系〔政策経営コース／国際経営コース〕においては経済学・経営学・会計学や法学などを身につけ、現実には生起する社会現象や社会問題に解決策を提案し、新たな発想に基づいた企画を立案できる人材の育成を目指します。

融合領域〔ヨコハマ起業戦略コース〕においては、横浜をはじめとした世界中の都市や地域が抱える様々な問題に、グローバルで学際的な視点から総合的に対応できる起業マインド豊かな人材の育成を目指します。

コース選択においては 1 つのコースを専攻するだけでなく、2 つのコースを主専攻・副専攻とすることで広い視野や対応力を培うことも可能としています。卒論演習を必修科目とすることで国際性、総合性、専門性をもつ人材育成を目指します。

医 学 部

生物学、化学などの基礎科学のみならず、文学、哲学、倫理学などの人文科学にも確固とした基礎を置き、学問の府として広く医学・看護学および医療の知識と技術を授け、高度な学識や倫理観と実践能力を培うことによって、地域社会や国際社会で活躍・貢献することのできる人材を育成するとともに創造的研究を遂行し、社会の発展と人類の福祉に寄与する医学・医療分野の指導的な人材を育成します。

医学科においては医学科、医学研究科、附属 2 病院が密に連携して医学教育を行うとともに、医学・医療分野における課題を解決するための創造的研究を推進し、最新の医療技術を臨床現場に導入して、全人的医療を実践する人材の育成を目指しています。プライマリ・ケア医をはじめ、生命科学、医学、医療の分野をリードする臨床医、医学研究者、医学教育者、医療行政官など、医学・医療の分野における指導的医師・研究者を育成します。

看護学科においては今日の保健医療・福祉分野における医療技術の進歩の中、健康問題に関する多様なニーズに対して高い専門性と共に生命と個人の尊厳を尊ぶ姿勢や倫理観を有し、他の専門職との連携を図り、リーダーシップの発揮できる人材の育成を目指しています。

◆ 5 求める学生像、望ましい資質

▼ 横浜市立大学が求める学生像 ▼

横浜市立大学では、学部・学科・学系によらず、次のような人を求めます。

- ▶ 既成の枠組みや慣行にとどまらず、自由に創造的な姿勢で真理を探究する人
- ▶ 課題意識を持って、自らの人生を生き抜く強い意志力を備えた人
- ▶ 地域社会のみならず、広く人類社会に貢献する意欲を持つ人

▼ 学系・学科に望ましい資質 ▼

国際総合科学部

国際教養学系

- ▶ 人間と自文化・異文化についての旺盛な好奇心を持つ人
- ▶ 外国語への関心を持ち文化交流や情報発信に積極的な人
- ▶ 社会や文化について深く考え追求できる人

理学系

- ▶ 自然科学に対する強い関心と探求心がある人
- ▶ 実験し発見することに喜びを感じられる人
- ▶ 自然科学の発展のために意欲あふれる人

経営科学系

- ▶ 経済・社会問題など社会科学の話題に興味を持つ人
- ▶ 企業経営や市場、政策、地域に対する旺盛な好奇心を持っている人
- ▶ 多様な観点から経済社会の問題に取り組む意欲を持つ人

融合領域

- ▶ まちを歩くのが好きで社会の動きや流行に敏感な人
- ▶ 新しいことにチャレンジしてあきらめない人
- ▶ 枠におさまらずにいろいろなことに興味をもつ人

医学部

医学科

- ▶ 高い倫理観を有し、幅広い教養と医学への関心の深い人
- ▶ 柔軟性と協調性があり、思いやりと命を尊ぶ心を有する人
- ▶ 医学医療分野の担い手たる責任感・使命感を持つ人
- ▶ 科学的探求心と創造性を持ち、世界の医学・医療の進歩に貢献する熱意を有する人

看護学科

- ▶ 看護学を志し、人々の幸福や安寧のために貢献したいという意志を有する人
- ▶ 問題解決能力と変革意識が高く、他者との協調性に富んだ人

6 多様な入学者受入制度

◆一般選抜入学試験◆

国際総合科学部

基礎学力を評価するセンター試験（一次試験）と、志望分野についての問題意識、理解力、論理的思考力、外国語能力などを総合的に評価する論文試験（二次試験）により選抜します。

国際教養学系の論文試験においては現代世界の社会・文化問題に知識と関心を持っているかどうか、複雑な社会・文化現象に対する分析力と理解力をもっているかを評価します。

理学系の論文試験（総合問題を含む）においては物理・化学・生物学・数学の基礎をよく理解し、自然現象や科学技術などを基本に根ざした視点でとらえる力があるかを評価します。

経営科学系の論文試験においては社会現象に対する理解力や思考力、および社会科学に関する総合的な能力を有するかを多角的に評価します。

医学部

基礎学力を評価するセンター試験（一次試験）と、二次試験により選抜します。

医学科の二次学科試験においては自然科学（理科）、外国語（英語）、数学を課し、いずれの分野においても基礎をよく理解しているかどうか、また小論文と面接においてはものの考え方やコミュニケーション能力を評価します。

看護学科の二次試験においては保健医療・福祉の分野に関わる問題・課題についての基本的な知識や自己の見解などを論理的に表現できる力を評価します。

◆特別選抜入学試験◆

国際総合科学部

国際教養学系／理学系／経営科学系

推薦入学(指定校制)

本学部への入学実績に基づき指定する高等学校の在籍者を対象として、在学中の英語を含めた幅広い基礎学力を備えているかを評価する書類選考と面接により評価します。

AO入試

高校生から社会人まで、大学入学資格を持つ人を広く対象として独自の個性や資質などを備えた人を選抜するため実施します。関心ある分野における積極的な活動やそれに対する自己評価、入学後の目標を記した書類および高等学校の調査書(またはそれに代わる書類)、英語外部試験の成績の提出が必要です。1次の書類選考合格者には2次試験として書類内容に即したプレゼンテーションを課し、総合判定します。

海外帰国生特別選抜

外国の高等学校で学んだ人*を対象に実施します。英語外部試験において一定以上の成績を修めていることが必要です。日本とは異なる教育制度の元で修得した学科目の修得内容や外国滞在経験により培われた国際的感覚などを評価するため、筆記試験および面接により評価します。

私費外国人留学生特別選抜

日本国以外の学校教育制度による12年の課程を修了(または修了見込)し、その国において大学入学資格を有する外国人を対象として実施します。日本留学試験および英語外部試験において一定以上の成績を修めていることが必要です。日本語能力および思考力や基礎学力について、筆記試験および面接により評価します。

*日本国籍を有する人または日本国の永住許可を得ている人その他これに準ずる人

医学部

看護学科

推薦入学(指定校制)

本学看護学科が指定した高等学校の在籍者を対象として、看護への志向性と十分な基礎学力を在学中の調査書および面接により評価します。

編入学選抜

看護系短期大学・専修学校出身者を対象として、3年次編入試験を実施します。本学看護学科が目指す看護職者としての適格性やより質の高い看護や専門性の追求可能な基本的能力を評価します。